資料1

平成30年度生野区の取組み振り返りについて

（くらしの安全・安心部会：抜粋分）

令和元年度 生野区区政会議
第１回くらしの安全・安心部会

令和元年５月２８日（火）

目　次

・平成30年度の主な取組 ---------- 3

・平成30年度の主な具体的取組

（１）地域自主防災力の強化 ---------- 4

（２）災害発生時の的確な対応 ---------- 6

（３）空き家や老朽住宅等への対策 ---------- 9

（４）犯罪の防止 ---------- 12

（５）事故の防止 ---------- 14

（６）すべての世代の健康づくり ---------- 16

（７）身近な見守り・支えあい ---------- 20

（８）「地域包括ケアシステム」の構築に向けた体制の整備 ---------- 22

（９）真に支援が必要な方への確実な対応 ---------- 24

（10-1）貧困の連鎖を断ち切るための支援 ---------- 28

（10-2）貧困の連鎖を断ち切るための支援 ---------- 30

（11）人々の多様性を尊重し、認めあえる環境づくり ---------- 32

（12）外国籍住民とのコミュニケーション媒体の活用・地域住民との交流促進 --- 34

・目標の達成状況 ---------- 36

・目標の達成状況を踏まえた評価結果の総括 ---------- 37

平成30年度 主な取組
くらしの安全・安心部会関連

災害に備えて
地域自主防災力の強化・災害発生時の的確な対応・空家等や老朽住宅への対策

犯罪・事故の防止に向けて
犯罪の防止・事故の防止

ずっと安心して暮らせる環境づくり
すべての世代の健康づくり
地域における要援護者見守りネットワーク事業
地域包括ケアシステムの構築に向けた体制の整備

ひとりもとりこぼさない支援を
真に支援が必要な方への確実な対応
貧困の連鎖を断ち切るための支援　～貧困の連鎖をくいとめるために～

すべての人々の人権を互いに尊重し認め合える環境づくり
人々の多様性を尊重し、認めあえる環境づくり
外国籍住民とのコミュニケーション媒体の活用・地域住民との交流促進

（１）地域自主防災力の強化

◆取組実績

- ●防災出前講座の実施：145回
- ●地域防災マップ作り替え作成支援：3地域
  ※実施済：14地域
  未実施：5地域
- ●地域防災リーダー研修会：6回
- ●防災の基本である自助
  （家具転倒防止対策等）の啓発

地域防災リーダー研修会

防災出前講座の様子

【30年度業績目標】

・地域住民の日頃から、減災に向けた自助・共助の防災対策の必要を感じ、日頃からの取組み活動が重要と感じている割合

目標： 60%以上　⇒　実績： 93%

目標達成

（２）災害発生時の的確な対応

◆取組実績

- ●地区防災計画の勉強会：１回（１地域）
- ●災害時避難所・福祉避難所への資器材等の配備の充実：通年
- ●行政機関の連携による災害時想定訓練：１回
- ●災害時避難所や関係機関との通信網の整備：通年
- ●区医師会、区歯科医師会、区薬剤師会との災害時医療救護体制の整備に向けた関係機関会議開催：１回

あじさい防災パートナー研修

【30年度業績目標】

・市民防災マニュアル・区や地域の防災マップ・水害ハザードマップ・地域防災計画などのマニュアルや計画が作成されていることを知っている割合

目標　：60%以上　⇒　実績：　63.1%

目標達成

＜大阪北部地震・台風21号、24号の災害対応を踏まえた今後の災害対応について＞

【課題】

・一時的に電話が不通になるなど、必要な情報提供や情報収集が行えなかった
・高齢者や要支援者等の避難時間も考慮した避難所開設のタイミング
・避難所開設情報をスムーズに広く区民に伝達する方法

【今後の取組】

・災害時における効果的な情報発信方法及び情報の多言語化
・避難所や関係機関との通信網の整備
・迅速な対応が行えるよう職員体制の整備を図るとともに効果的な職員訓練の実施
・避難所派遣職員への装備品の強化
・ 被害状況等によっては通常業務の一部停止等の対応も検討

（３）空き家や老朽住宅等への対策

◆取組実績

●老朽住宅や空家のセミナー等の開催
- 空き家カフェ拡大版１回・４区合同空き家管理セミナー１回
- 地域が主体となった空家対策会議（空き家カフェ）への参加・空家利活用事例紹介11回
- 「再生」まちづくり講演会６回・空き家利活用アンケート実施

●空家情報のデータベース化：156件

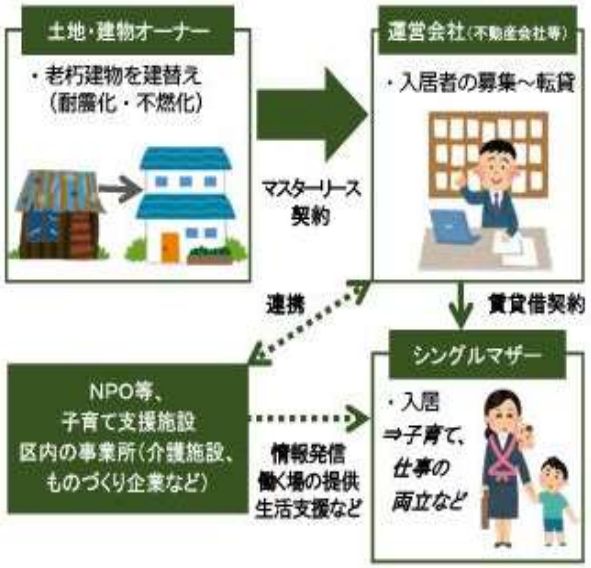
●特定空家等に関する通報等受付、現地確認、所有者調査助言・指導等

セミナー

相談会

●建替えのアイデア集「建替えのすゝめ」の周知（随時）

シェアハウスとしての活用例



シングルマザーって どれぐらいいるの？

- 生野区にはおよそ 1,000 人のシングルマザーが住んでいます
- 生野区は、介護施設やものづくり企業など、住まいの近くで働ける場所が充実しています
- シングルマザーの場合、時間的制約のために、正社員で働けなかったり、働く時間が短くなったりして、収入が低くなってしまう傾向があります

～ 関係者の声（運営会社）～

保証人が不要で家具・家電の購入費など初期費用の負担が小さいものが多いシェアハウスは、シングルマザーの助けになっています。入居者は小学校入学前の子どもをもつシングルマザーが中心です。

【30年度業績目標】

・周辺の特定空家等に不安を感じている区民の割合

目標：8％以下 ⇒ 実績：20.6％

・特定空家等の解体や補修等による是正件数

目標：5件以上 ⇒ 実績：51件

目標未達成

◆要因分析と課題

・大阪府北部地震、台風21号・24号の影響により、被害を受けた家屋が多くあったことから、不安を感じている区民が増加したものと思われ、空家所有者に対する適正管理のより一層の周知・啓発が必要。

◆今年度の方向性

・ 特定空家等の調査や指導、解体、修繕等の是正を促進
・空き家の管理や空き家の利活用事例紹介セミナーの開催、各種相談窓口の周知など啓発の強化

（４）犯罪の防止

◆取組実績

●生野区全域一斉パトロールの実施
　：１回、１０月１９日実施

●防犯カメラ設置補助：１８箇所

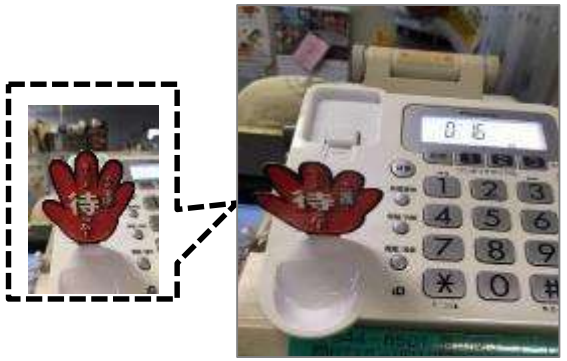
●防犯標語「ガチ☆メン」：４３回
　（区長杯：１回　競技大会：１回）

●防犯出前講座：６地域８回

●特殊詐欺対策の取り組み電話用
　『注意喚起用手形　ＰＯＰ』 の作成

生野区全域一斉パトロール

防犯標語「おこのみやき」 第7回生野区ガチ☆メン競技大会



注意喚起用手形　POP

【30年度業績目標】

・各事業ごとの参加者アンケート満足度

目標：80%以上

⇒ 実績：

- **生野区全域一斉パトロール：94.19%**
- **ガチ☆メン競技大会：90.91%**
- **生野区長杯ガチ☆メン大会：94.44%**

目標達成

一斉パトロール参加者アンケートより

・このような機会を通じて地域のつながりがより一層強くなっていくと思います。
・町会内の家々を見ることができ、災害時には非常に役立つと思います。
・近年、老人の参加者が非常に多いので若い年代の方々に参加してほしい。

（５）事故の防止

●警察、地域団体等と協働した街頭啓発 １０回
●小学校等と連携した交通安全教室の開催 ２０回
●駅周辺、商店街等での啓発広報

《 放置自転車への啓発：ベトナム語 》

≪自転車安全教室≫

《自転車マナーアップキャンペーン》

【30年度業績目標】

・各事業ごとの参加者アンケート満足度

目標：80％以上

⇒ 実績：小学校等の交通安全教室：96.08％

目標達成

地域団体と協働した街頭啓発参加者より

・商店街での自転車があぶない。
・無関心な人が多くがっかりします。
・もっと、声かけをすれば浸透するのでは。

（６）すべての世代の健康づくり

◆取組実績

●生活習慣病予防・介護予防の取組実施
- 地域健康講座の実施（226回・5,468名参加）
- いきいき百歳体操の実施（区内17地域から20地域へ）

●各種検診の重要性の周知・啓発と受診勧奨

・「がん撲滅戦隊いくみんレンジャー」を活用したHPやTwitterでの啓発

・いくの健康・食育フェア、成人式等など、あらゆる機会でチラシを配布し、受診勧奨

・がん検診受診促進協定締結団体や区内金融機関・駅等と連携し、ポスター掲示やチラシを配布

・がん検診レディスデーの実施（10月）

・前回受診者で、まだ未受診の方へ向け、郵送による受診勧奨（10月）

【30年度業績目標】

・生野区保健福祉センターで実施するがん検診の受診者数

目標：2,500人以上　⇒　実績：2,086人

目標未達成

◆要因分析と課題

（生野まつりでのアンケートより）

・「自覚症状がない」「めんどくさい」等
　受診意識が低い人が40％弱
・「どんな検査か知らない」「お金がかかる」
　「申込方法がわからない」等、正確な知識が
　行き届いていない人が35％弱

→普段からがん検診受診に対する意識が低い人が多く、またがんや検診に対する正しい知識を持っていない人が多い。

生野まつりで「健康づくり」ブースに来られた方へのアンケート（H30）

がん検診を「受けたことがない」理由	全体の割合
どんな検査か知らない	15.7%
お金がかかる	13.2%
申込方法わからない	5.3%
いつでも病院にいける	7.9%
検診案内がこない	5.3%
がんが見つかるのが怖い	13.2%
自覚症状がない	28.9%
便秘等で提出日が守れない	0.0%
内視鏡等ほかの検査を受けている	0.0%
その他（めんどくさい、特になし等）	10.5%

◆今年度の方向性

●ターゲットに応じた受診勧奨

・がん検診を受診したことのある人
　文書での個別勧奨を増やし、継続的な受診につなげる。
・がん検診を受診したことのない人
　ポスターやチラシの配布だけでなく、HPやSNS等の広報媒体を利用し、生活習慣病やがんに関する知識や各種検診の重要性についての情報提供を重点的に行う。

（7）身近な見守り・支えあい

◆取組実績

●「地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業」

①見守り相談室による要援護者情報の整備、管理
⇒同意1,538件　不同意209件（同意率：88.0%）
⇒区内全地域と提供にかかる協定の締結、名簿提供
⇒見守り活用事例報告会の開催(7月、3月)

②CSWによる孤立世帯等への専門的対応
⇒相談対応累計　のべ2,180件

③認知症高齢者等の行方不明時の早期発見
「認知症見守りネットワーク」による
徘徊者保護
⇒見守りメール協力者　180名

【見守り事例報告会の様子】